

ワークショップ 1

「OGIB におけるカプセル内視鏡の役割」

司会 大宮 直木（藤田医科大学先端光学診療学講座）

富樫 一智（福島県立医科大学会津医療センター）

近年、上部消化管・大腸内視鏡で原因不明の消化管出血（suspected small bowel bleeding: SSBB）の診断能は向上した。その出血源は血管性病変、薬剤起因性傷害やクローン病などの潰瘍性病変、小腸腫瘍、憩室と多彩であるが、時に小腸内視鏡を用いても原因不明の出血（OGIB）に遭遇する。また、異時性・多発性に再出血する場合も多い。本ワークショップでは、カプセル内視鏡以外の機器も含め、SSBB や OGIB に対する各施設の診断や治療の工夫や新たな試みなど多くの演題応募を期待する。